

事務事業評価票 [市単独補助金]

平成 26 年度

		担当課		福祉課			
基本事項	補助金(事業)名	敬老事業実施補助金			整理番号	0903	
	根拠法令等				実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章	第8章 健康で生きがいある生活を支える	予算科目	3 款 1 項 3 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規	
		節	第3節 高齢者福祉の充実	区分	その他		
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	各地区実行委員会及び自治会等			実施期間	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度まで	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	永年にわたり社会に尽くしてこられたお年寄りを敬愛し、長寿をお祝いするため、各地区において70歳以上の方を招待して敬老祝賀会等が開催されている。					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	地域の恒例行事として事業を継続し、高齢者に交流の場を提供するとともに、地域住民が一体となって事業を実施することにより、地域の活性化につなげる。					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	9月1日現在で70歳以上の人数を基準に、1人あたり1,000円を敬老事業を実施する実行委員会に交付する					
事業費等の推移	年度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		10,812	10,901	10,841	11,039	11,518
	① 団体等事業費(千円)			16,509	16,240	16,633	
	② 歳入内訳(千円)	会費等		4,993	4,765	4,749	
		前年度繰越金		1,302	1,774	2,048	
		市補助金		10,901	10,841	11,039	
		その他の助成金		1,008	849	799	
その他雑収入			79	59	80		
次年度繰越金(②-①)		0	1,774	2,048	2,082		
25年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載)(単位:円)							
項目			金額	項目			金額
記念品・祝金代			5,720				
祝宴費			8,805				
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	高齢者を敬愛し、長寿をお祝いするとともに、毎年多くの高齢者の交流の場となっている。また、地域の恒例行事として定着しており、事業の継続によって地域の活性化につながる。
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	地域の恒例行事として定着しており、地域と一体となり長寿をお祝いするものであり、事業費に占める補助金の割合も高く今後も必要である。
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し 必 要 性	<input type="radio"/> 見直しの必要はない <input checked="" type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	高齢者の増加に伴い事業費の増加が予想されるため補助単価の検討が必要である。
○総合評価と今後の方向性		
総合評価	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し <div style="text-align: right;">休止・廃止の具体的方向性</div> <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) → () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) → ()
	判 定 理 由	
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1~B4の場合)	課 題	
	方 向 性 の 見 直 し の	

◎2次評価

判 定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善 ▼
備 考	高齢者の増加が見込まれる中、財政負担を考慮の上、支給額抑制の方法等を検討されたい。

◎3次評価

判 定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善 ▼
備 考	事務改善を求める。現在70歳となっている対象年齢の引き上げの検討や、多様化するニーズを把握しつつ高齢者の健康づくりや生きがいづくりを図るべきである。

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)	
☑補助額の削減 ☐補助額の増加 ☐補助の休止若しくは廃止 ☐現状維持	⇒ 予算措置額の増減 △ 1,168 千円
備 考	